

## 第5章 成果指標と進捗管理

### 1. 成果指標

空家等対策の推進に向けて、本計画の進捗や成果を評価するため評価指標を設定します。評価にあたっては、各取組により「予防抑制」「適正管理」「利活用」の効果等が発現できているかを評価指標により確認します。

	評価指標	実績値	目標値	評価指標の考え方
予防抑制	使用目的のない空家数	2,910戸 令和5年/2023年 住宅・土地統計調査	現状維持 令和15年/2033年 住宅・土地統計調査	空家予備群への啓発と情報提供や相談体制の強化により、これ以上空家等を増やさなくすることで、空家化の予防抑制につなげます。
適正管理	指導した管理不全空家等、特定空家等の改善率(累計)	なし 令和7年度/ 2025年度	100% 令和17年度/ 2035年度	管理不全化・特定空家化の抑制、他分野連携による早期発見・対応の体制強化、空家の除却と跡地利用促進により、確実な改善につなげ、適正管理を促進します。
利活用	空き家情報バンク及び地域認定空き家登録数	29件/年 令和6年度/ 2024年度	50件/年 令和17年度/ 2035年度	地域特性に応じた利活用促進と広報強化、スムーズな空家の利活用に向けた取組の強化により、真庭市定住支援活動奨励団体や民間事業者と連携した空家等の利活用につなげます。

### 2. 計画の検証と見直し

本計画は空家等の対策を推進するため、必要に応じて適宜見直すこととします。

計画内容の改定にあたっては、真庭市空家等対策検討委員会を開催しながら、各種の評価や検証、具体的な見直し案の立案を行うことを基本とします。